

第 106 回 企業活性化分科会・議事録

<第 106 回 2018 年 5 月 12 日 (土) 時間：13：30～17：00 於：専修大学 (神田校舎) >

参加者：井端、木村、鈴木、高市、但野、宮川、山本洋 (7 名)

1. テーマ 1：大黒屋 HD の分析 (継続企業の前提に関する注記の記載を解消した企業の研究) (報告者：但野稜馬、配付資料：8 枚)

本報告は、継続企業の前提に関する注記の記載を解消した大黒屋ホールディングスについて分析したものである。大黒屋HDが 2003 年 3 月期において継続企業の前提に関する注記が記載されて以来、2013 年度において継続企業の記載が解消した。その解消に至った要因を分析したものである。

2. テーマ 2：インスペックの分析 (継続企業の前提に関する注記の記載を解消した企業の研究) (報告者：宮川宏、配付資料：18 枚)

本報告は、2009 年 4 月期に G C 注記が付され、2014 年 4 月期に G C 注記が解消されたインスペックを取り上げて、G C 注記が付された理由と解消した理由を分析して、G C 注記解消がどのような要因で行われるか、分析したものである。インスペックにおける G C 注記が付された時点と G C 注記が外された時点の比較貸借対照表を作成し、比較検討した。加えて、注記前後および解消前後の比較検討を行った。その結果、G C 解消の視点として、比較貸借対照表を用いて二時点間の比較することで、注記解消の財務的な視点を明らかにしている。